

観光船におけるヒグマ目撃回数

知床半島斜里側では、400 トンクラスの大型観光船（1社2隻）とクルーザー型の小型観光船（6社9隻）が4月～11月の間運航している。これらのうち、小型観光船の主要な目的の一つは、ヒグマ観察である。運航コース・時間は各社ほぼ同様に、特にカムイワッカ以北の海岸では高い確率でヒグマを目撃することができ、人気を博している。小型観光船の運営会社の1社は、運航中のヒグマ目撃情報を詳細に記録しており、ここでは同社が2009年に記録したヒグマ目撃情報を示す。この記録は複数年にわたって残されており、ヒグマの個体群の動向をモニタリングする上で重要な資料となりえる。

運航期間：4月中旬～11月中旬（コースによって異なる。表1）。期間中毎日運航（天候により欠航することもある）。

運航形態：小型観光船（約60人乗のクルーザー）で3コースあり（表1、図1）。

表1. 観光船運航状況

		硫黄山コース	知床岬コース	ヒグマコース
運航期間		4/15-11/13	5/1-5/5, 6/1-10/8	5/1-5/5, 6/1 9/29
所要時間		約1時間	約2時間	約3時間
1日の運航数	通常便	4	2	2
	臨時便	3	1	1
出航時間は臨時便		6:00 8:00 9:30 10:30 13:15 14:15 15:30 16:30	9:30 12:30	8:30 14:30 15:30
備考		最終便 9/15-9/24 16:15 9/25-10/2 16:00 10/3-10/15 15:15 10/16-11/13 14:15	12:30発は6/1 ～9/30までの 運行	



図1. 観光船コース

期間中、853回の運航によって、のべ1532組のヒグマが目撃された（子連れの場合、親子で1組とする）。主な目撃場所はカムイワッカからルシャにかけてであった。

ヒグマコースや知床岬コースは、硫黄山コースに比べ非常にヒグマの目撃率が高かった（表2）。

1回の運航における平均ヒグマ目撃組数は5月から増加し7月に最も多くなる傾向にあった（図2）。

表2. 観光船運航状況とヒグマ目撃状況(2009年)

コース名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	年間合計
硫黄山	運航回数(a)	19	78	109	99	110	71	46	14	546
	ヒグマ目撃組数(b)	15	105	86	46	23	25	24	2	326
	平均目撃組数(b/a)	0.8	1.3	0.8	0.5	0.2	0.4	0.5	0.1	0.6
知床岬	運航回数(a)	0	2	53	46	52	38	6	0	197
	ヒグマ目撃組数(b)	0	6	239	247	172	132	13	0	809
	平均目撃組数(b/a)	-	3.0	4.5	5.4	3.3	3.5	2.2	-	4.1
ヒグマ	運航回数(a)	0	4	17	21	45	23	0	0	110
	ヒグマ目撃組数(b)	0	11	60	102	136	88	0	0	397
	平均目撃組数(b/a)	-	2.8	3.5	4.9	3.0	3.8	-	-	3.6
計	運航回数(a)	19	84	179	166	207	132	52	14	853
	目撃組数(b)	15	122	385	395	331	245	37	2	1532
	平均目撃組数(b/a)	0.8	1.5	2.2	2.4	1.6	1.9	0.7	0.1	1.8

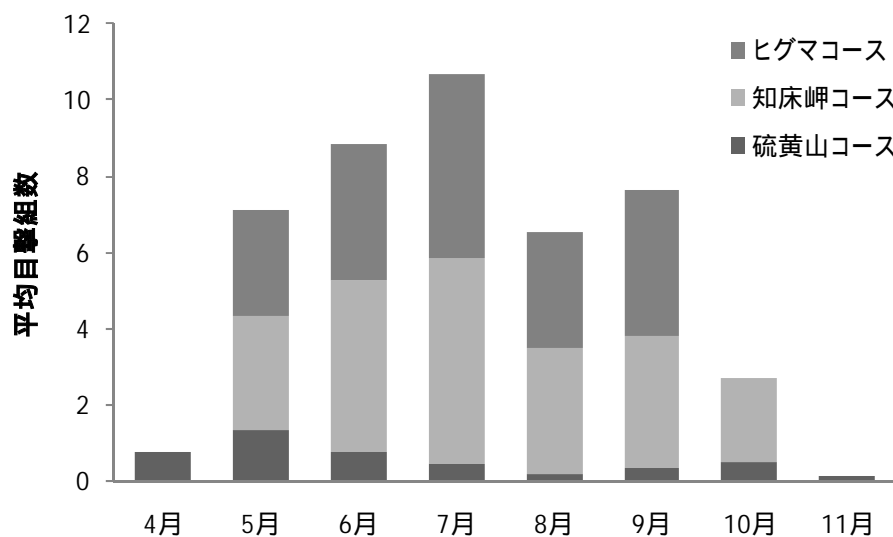


図2. 月別に見た運航1回あたりのヒグマ目撃組数

〔資料提供〕(有)丸は宝来水産「ゴジラ岩観光」

ヒグマ対応件数

(第1回会議【資料3-5】図10～図14再掲)

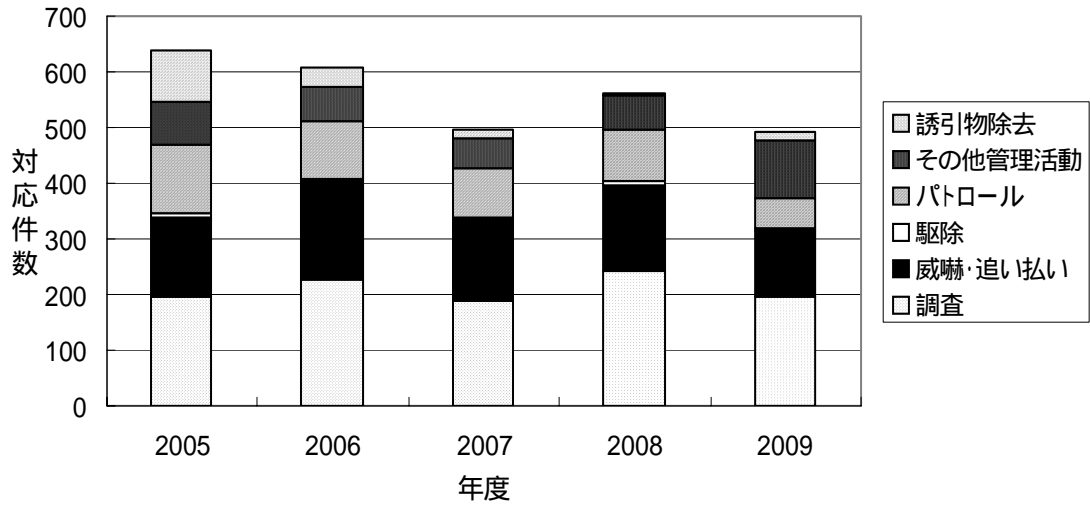


図1. 斜里町における対策区分別のヒグマ対応件数 (2005-2009年度)

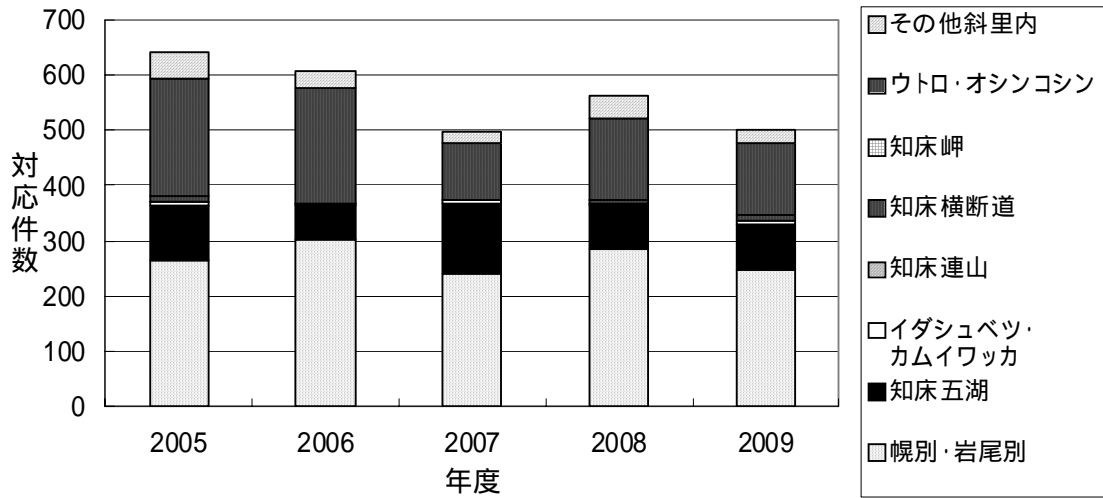


図2. 斜里町における地区別の対応件数 (2005-2009年度)

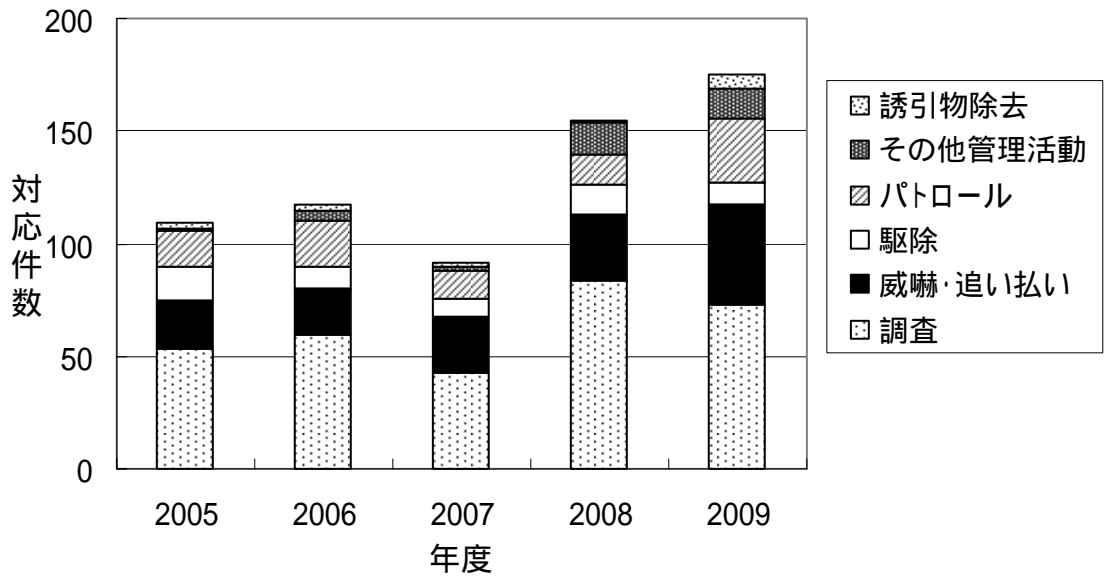


図3. 羅臼町における対応区分別のヒグマ対応件数 (2005-2009年度)

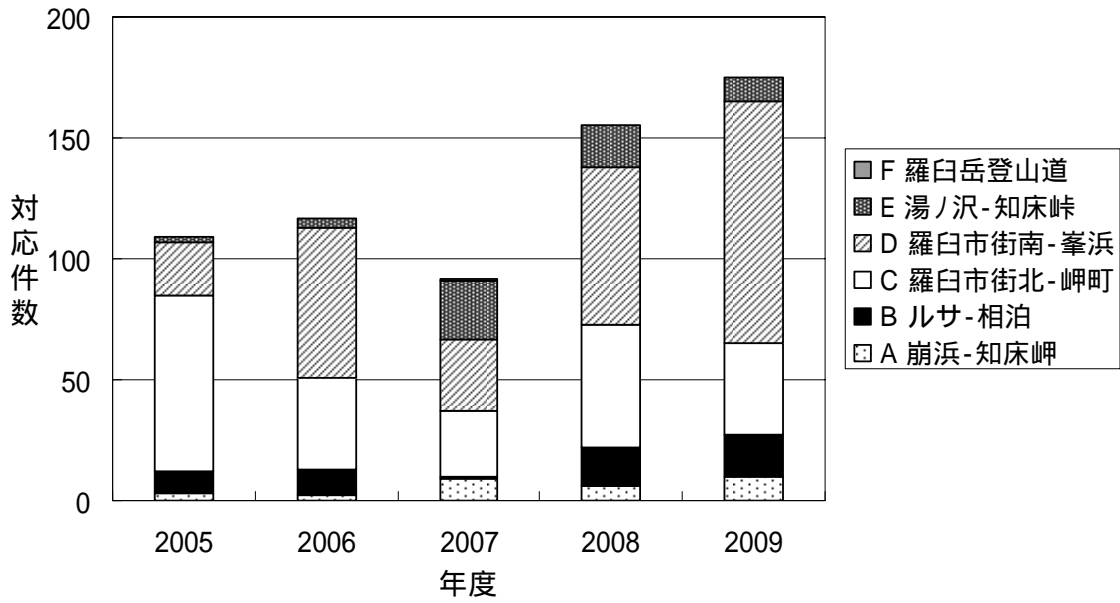


図4. 羅臼町における地区別の対応件数 (2005-2009年度)